

---

# 空の階（きざはし）

維月十夜

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

空の階<sup>あいのはし</sup>

### 【Nコード】

N1877A

### 【作者名】

維月十夜

### 【あらすじ】

売れないミュージシャンの俐生。絶体絶命の危機に陥った彼は、決意し、入水した。しかし、過去のある夏の日に出逢った少女に助けられ、不思議な再会を果たす。少女との『約束』を思い出した俐生は、彼女と永遠の旅に出た。幼い頃の『あの日』を彷彿とさせるような、ホラーファンタジー

**（前書き）**

どうも、維月です。

学生時代に書いた物に手を加えて書いてみました。  
拙いですが、こんな物でも宜しければ謁見の程を。  
それでは、失礼致します。

鈍色に歪んだ空が、時折ごろろと機嫌を損ねている。

そんな今は、黄昏時。

「くそっ、なにも見えやしねえっ！」

ワイパーの向こうで毒づいたのは、運転席に座っている少年だった。けれど、誰も彼をなだめたりはしない。

なぜなら彼は、車の中に一人きりなのだから。

助手席にある携帯が、しきりに点滅している。

それは、彼が窮地に追い詰められていることを証明する、唯一の証人だ。

ぎし、と鈍い音がして、車はその動きを止めた。

「ったく……なんだよ、こんな時に！」

彼は、携帯の画面を見る。

溜まっているのは、不在着信10件と、伝言メモが2件だった。

（着信はいいとして、伝言メモ？なんだろう……）

指は、多少戸惑った後、おそろおそろメモの再生を押した。

『あつ、もしもし？ 日の出口ーンですけど、お宅、ご友人の山上

さんの連帯保証人でしたよね？滞納したままドロクされて、こっちも困ってるんですよ、今週中に必ず50万払ってください！またかけ直します……』

青くなつて、途中で伝言を切り替え、次の伝言を聞いた瞬間、彼は運転席に突っ伏してしまった。

『ちよつとお兄ちゃん！？ 前に貸した30万、早く返して！』

（無情だ……！俺って、昔からツイてないんだよなあ……今月の生活費すら危ういってーのに）

だから、野宿するつもりなのである。

携帯を助手席に放り投げて、彼はヨロヨロと車から出た。

俺、ていつか今更自己紹介しても仕方ないんだけど、青海俐生<sup>おつみりき</sup>、2  
4才。

自分で言っても悲しいけど、売れないミュージシャンだ。

4年前、親の反対を押し切って実家を出て、念願叶っての一人暮らしをしていた。

けど現実には、想像以上に冷たかった。世間の荒波ってヤツだよな。

「はあ……頼りのばあちゃんからも見放されて」

（どうすんだよ……あゝ、腹減ったなあ。食いかけの菓子パン、まだ残ってたかなあ？）

そんなことをぼんやりと考えつつも、コンビニの袋をあさってみる。しかし出てきたのは、少しのゴミだけだった。

いづれ、この車もガソリンが尽きて止まるだろう。

「はっ……生きる資格なしってか……自業自得だよな、俺ってやっぱりツイてない。バカだよなあ、今更気づいても遅いってーの」

先よりも小降りになった小糠雨の中で、俐生は引きつれた笑いを浮かべて、鈍色の空を見あげた。

（もういい、いっそ死んでしまおう……もう疲れた）

ヨロヨロと土手を下り、川岸に近づいていく俐生。

川は、囁々（ごうごう）と濁流が逆巻いている。

（案外、深いな……ここなら楽に逝けそう）

腰までが濁った水に浸り、俐生は濁流に倒れ込むように沈んだ。

（く……るしっ、泳げねえンだった！ 昔っから、そういえば、ここで溺れたことも、あったな）

流れに任せるようにして、俐生は、ゆっくりと目を閉じた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1877a/>

---

空の階（きざはし）

2011年1月29日14時08分発行